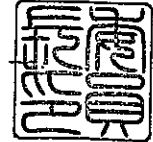




令和4年12月22日

奥多摩町長 師岡伸公 様

奥多摩町庁舎建設委員会
委員長 松本 祐



庁舎建設基本計画策定に向けた提言について（答申）

令和4年9月30日付奥企第187号による諮問事項について、奥多摩町庁舎建設委員会設置要綱第2条の規定により検討及び協議を行った結果、下記のとおり答申いたします。

なお、この答申は、奥多摩町庁舎建設委員会において議論された内容を盛り込んでおり「奥多摩町庁舎建設基本計画策定に向けた提言」として意見をまとめました。過日、提出いたしました中間答申と併せ、本答申の内容が尊重され、基本理念が反映された新庁舎の建設が実現されることを切に期待します。

記

1. 庁舎建設基本計画に関すること

本答申は、令和4年11月に策定された奥多摩町役場庁舎建設基本構想の考え方をより具体化するものであり、基本構想の内容を引き継ぎつつ、以下の事項について留意の上、庁舎建設基本計画を策定されたい。

- 建設候補地は、奥多摩駅に隣接する細長い敷地であるため、コスト面だけでなく当該敷地の特性を活かした庁舎のあり方を検討されたい。
- 奥多摩町は、行政面積の94%が森林に囲まれた自然が豊かな水源の町であり、持続可能な地域社会の実現のためにも、多摩産材等の木材が積極的に活用されるよう検討されたい。
- 庁舎完成後も町民をはじめ、町を訪れる人々が関わりを持てるような屋外スペースの確保と有効活用が図られるようソフト面の充実を検討されたい。
- 新庁舎へのアクセスに関しては、中間答申で示した現状の課題があるため、新たな進入路の整備（自動車用）や奥多摩駅からの直結通路の設置（歩行者用）などについて、関係機関と協議や連携を図り、十分な検討を行うとともに、安全確保の実現に努められたい。
- 新庁舎は、災害時等、有事の際には防災拠点となるため、隣接する広域避難場所である氷川小学校や町福社会館との連携を視野に入れ、高い危機管理能力を有した庁舎となるよう検討されたい。
- 執務空間においては個人情報保護や来庁者の安全を含めたセキュリティ対策を推進するとともに来庁者が快適（スムーズ）に利用できるよう、適切なセキュリティ対策と利用者空間（オープンスペース）のバランスを図られたい。

○DX (デジタルトランスフォーメーション) 化の推進を図りつつも、職員による温かみのあ
る、きめ細やかな来庁者への対応も引き続き求められるため、利用者目線に立ったシステ
ム化を検討されたい。

○来庁者の多くは、車の利用が見込まれることから駐車場の確保が必要であるが、一方で観
光シーズンには、観光客等の駐車も数多く駐車場不足の状況となる。このため、現庁舎跡
地の駐車スペースとしての活用も検討されたい。